

学会、研究会、および講演会

(平成 18 年 1 月～12 月)

石橋達朗：

生活習慣病ベターマネジメントの研究提案～眼科的立場から～

厚生労働省：感覚器疾患研究の推進 2006 年 1 月 30 日 東京

石橋達朗：

加齢黄斑変性と PDT

眼科診療アップデートセミナー2006 (IN 京都)

2006 年 3 月 4～5 日 京都

石橋達朗：

増え続ける加齢黄斑変性

第 1 回感覚器シンポジウム 2006 年 3 月 24 日 東京

石橋達朗：

加齢黄斑変性：最近の話題

第 81 回日本眼科症例検討会 2006 年 5 月 25 日 東京

石橋達朗：

網膜脈絡膜疾患の研究 ―― 産官学連携へ向けての取り組み ――

感覚器に関する研究発表会とワークショップ

―― 産官学連携の展望 ―― 2006 年 5 月 26 日 東京

石橋達朗：

PDT 後の胞状網膜剥離

第 8 回 Japan Macula Club 2006 年 8 月 19～20 日 蒲郡市

石橋達朗：

糖尿病網膜症の病態とマネージメント

第 41 回糖尿病学の進歩 2006 年 9 月 29 日 旭川市

石橋達朗：

糖尿病で失明しないためには・・・

眼の愛護デー記念眼科 Eye 倶楽部 vol.14 2006 年 9 月 30 日

中間市

石橋達朗：

糖尿病網膜症の Better Management

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 7 日 京都市

(特別講演)

石橋達朗：

緑内障は視覚障害原因の第 1 位

ファイザー (株) 九州プレスセミナー 2006 年 11 月 21 日 福岡市

石橋達朗：

眼における血管新生とレドックス

九州大学・東京フォーラム

「生態レドックスを視る、操る、治療する」

2006 年 11 月 28 日 東京都

Ishibashi T, Yasuda M, Noda Y, Oshima Y, Kiyohara Y, Iida M:

The 5-year incidence and risk factors of age-related maculo-pathy in a general Japanese population: The Hisayama Study

5th International HRA Symposium Kyoto Japan

2006 年 11 月 3～5 日 京都市

岡田浩美、田原昭彦、原田行規、藤 紀彦、久保田敏昭：
円蓋部基底結膜切開による線維柱帯切除術の手術成績
第 29 回日本眼科手術学会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

青木瑠美、田原昭彦、岡田浩美、原田行規、藤 紀彦、久保田敏昭：
線維柱帯切除術後の濾過胞漏出に対する外科的対処法
第 29 回日本眼科手術学会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

廣瀬直文、板家佳子、属 佑二、新田憲和、原田行規、久保田敏昭、
田原昭彦：
線維柱帯切除術後の濾過胞からの房水漏出に対する自己血液注入
第 29 回日本眼科手術学会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

岡田浩美、田原昭彦、久保田敏昭、大原 進：
緑内障術後の房水漏出に対し、羊膜移植が奏功した 1 例
第 22 回九州緑内障カンファレンズ 2006 年 2 月 5 日 沖縄市

久保田敏昭、岡部伯央、久富智朗、山切啓太、坂本泰二、田原昭彦：
トリアムシノロン硝子体内注入後のステロイド緑内障の線維柱帯組織所見
第 22 回九州緑内障カンファレンズ 2006 年 2 月 5 日 沖縄市

永田竜朗、上野 晋、森田啓文、久保田敏昭、柳原延章、田原昭彦：
緑内障点眼薬の神経保護作用についての実験的検討
グルタミン酸受容体への直接作用
第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

久保田敏昭：

房水流出路の形態変化と緑内障の発症

―― ステロイド緑内障からのアプローチ ――

シンポジウム2 緑内障の病態解明と治療の展望

第110回日本眼科学会総会 2006年4月13～16日 大阪市

森田啓文、久保田敏昭、田原昭彦：

産業医科大学病院における未熟児網膜症の成績

第33回福岡大学眼科研究会 2006年4月22日 福岡市

青木瑠美、久保田敏昭、原田行規、田原昭彦：

視神経萎縮で発見された Septo-Optic Dysplasia の4例

第76回九州眼科学会 2006年5月12～14日 長崎市

新田憲和、田原昭彦、久保田敏昭、安田 浩、松山篤二、武田師利：

結膜に発生した扁平上皮癌の1例

第76回九州眼科学会 2006年5月12～14日 長崎市

石橋真吾、岡田浩美、久保田敏昭、田原昭彦：

視神経萎縮で発見された神経梅毒の1例

第76回九州眼科学会 2006年5月12～14日 長崎市

Harada Y, Hirose N, Kubota T, Tawara A:

The influence of central corneal thickness and corneal curvature on intraocular pressure measured by different tonometers; non-contact and Goldmann applanation tonometers

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

久保田敏昭：

加齢黄斑変性の治療成績

第1回北九州眼科病診連携研究会 2006年6月24日 北九州市

久保田敏昭：

緑内障性視神経乳頭変化および鑑別を要する疾患

関門眼科症例検討会 2006年7月15日 北九州市

ミニレクチャー

Kubota T:

Discussant to Dr Megumi Honjo on "New possible medical treatment for glaucoma, IOL lowering and neuroprotection"

(Univ. of Occupational and Environmental Health)

1st. Glaucoma Summer Camp 2006年7月20~21日 軽井沢

岡田浩美、黒田はるか、田原昭彦、久保田敏昭、川添理恵、

大原 進：

緑内障術後の濾過胞漏出に対し羊膜移植が有効であった2例

第17回日本緑内障学会 2006年9月8~10日 神戸市

永田竜朗、田原昭彦、久保田敏昭、柳瀬美保、原田行規、山下美恵、

石橋真吾、岡田浩美（産業医大）：

Goldmann 圧平眼圧計で測定した眼圧は、検者の測定眼により誤差を生じる

第17回日本緑内障学会 2006年9月8~10日 神戸市

柳瀬美保、岡田浩美、田原昭彦、永田竜朗、原田行規、久保田敏昭：

若年者正常眼視神経乳頭循環の部位による差違

第17回日本緑内障学会 2006年9月8~10日 神戸市

廣瀬直文、板家佳子、属 佑二、原田行規、久保田敏昭、田原昭彦：

原発開放隅角緑内障および高眼圧症に対するブリンゾラミド単剤投与による眼圧下降効果

第 17 回日本緑内障学会 2006 年 9 月 8～10 日 神戸市

山下美恵、久保田敏昭、田原昭彦、戸栗一郎：

急性閉塞隅角緑内障眼に対する超音波水晶体乳化吸引、眼内レンズ挿入術の成績

第 17 回日本緑内障学会 2006 年 9 月 8～10 日 神戸市

山下美恵、石橋真吾、久保田敏昭、田原昭彦、永松直子：

鈍的外傷により Phacic IOL の偏位を生じた 1 例

第 44 回六大学合同眼科研究会 2006 年 9 月 16 日 福岡市

久保田敏昭：

緑内障の手術療法

第 44 回六大学合同眼科研究会 2006 年 9 月 16 日 福岡市

(教育講演)

黒田はるか、久保田敏昭、岡田浩美、中野さおり、原田行規、

田原 昭：

紙カルテ版クリニカルパスから電子カルテ版クリニカルパスへの移行が医療経営に及ぼす影響

第 88 回久留米大学眼科研究会 2006 年 9 月 30 日 久留米市

山下美恵、石橋真吾、久保田敏昭、田原昭彦、永松直子：

鈍的外傷により Phacic IOL の偏位を生じた 1 例

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

森田啓文、久保田敏昭、西尾陽子、田原昭彦、白川義継：
産業医科大学病院における未熟児網膜症の発症と治療に関する検討
第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

黒田はるか、久保田敏昭、岡田浩美、中野さおり、原田行規、
田原昭彦：
紙クリニカルパスから電子クリニカルパスへの移行が医療経営に及ぼす影響
第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

相馬利香、森田啓文、久保田敏昭、田原昭彦：
白内障術後眼における眼球打撲による障害
第 48 回日本産業・労働・交通眼科学会 2006 年 11 月 18 日 東京都

久保田敏昭：
緑内障の診断と治療 ―― 最近の話題を含めて ――
筑豊・飯塚緑内障研究会 2006 年 11 月 18 日 飯塚市
(基調講演)

中野さおり、安里 望、久保田敏昭、田原昭彦：
横井式による結膜弛緩症の手術
第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

伊東 健、平田 亮、田原昭彦、久保田敏昭：
線維柱帯切開術中に Schlemm 管の同定が困難であった Axenfeld-Rieger 症候群の 1 例
第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

永田竜朗、森田啓文、久保田敏昭、田原昭彦、上野 晋、柳原延章：

アフリカツメガエル卵母細胞発現系を用いた緑内障点眼薬の神経保護作用の実験的検討

第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

岡田浩美、伊東 健、森田啓文、山城美和子、久保田敏昭、

田原昭彦：

強膜内陥術後に後極部多発性網膜斑状病変を生じた 1 例

第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

森田啓文、久保田敏昭、田原昭彦、廣瀬直文：

裂孔原性網膜剥離に対するトリアムシノロン併用硝子体手術の術後黄斑上膜形成の予防について

第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

岡田浩美、伊東 健、森田啓文、山城美和子、久保田敏昭、

田原昭彦：

強膜内陥術後に後極部多発性網膜斑状病変を生じた 1 例

第 45 回日本網膜硝子体学会 2006 年 12 月 1～3 日 東京都

藤澤公彦：

多剤点眼下における選択的レーザー線維柱帯形成術

第 29 回日本眼科手術学会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

(ランチョンセミナー)

藤澤公彦：

緑内障手術のタイミングと術式

北九州緑内障ミーティング 2006 年 4 月 7 日 北九州市

藤澤公彦：

Humphrey 視野検査のコツ

第4回閉門症例検討会 2006年8月5日 北九州市

藤澤公彦：

九州厚生年金病院における光線力学療法 (PDT)

第1回北九州眼科病診連携研究会 2006年8月29日 北九州市

藤澤公彦、有田量一、古賀久大、山中一郎：

眼圧が21mmHg以下の開放隅角緑内障に対する選択的レーザー線維柱帯形成術の効果

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～8日 京都市

藤澤公彦：

緑内障への新しいとりくみ

～教育入院、レクトミーの改善、レーザー手術～

筑豊緑内障講演会 2006年11月18日 飯塚市

藤澤公彦：

眼科でできる日帰り手術

八幡医師会講演会 2006年12月11日 北九州市

畑 快右：

Rho-kinase：その機能と治療標的としての可能性

第110回日本眼科学会総会 2006年4月14日 大阪市

(シンポジウム)

畑 快右：

糖尿病眼の病態と治療

第1回九州・沖縄糖尿病看護スキルアップセミナー

2006年2月5日 福岡市

Hata Y, Miura M, Sassa Y, Kano K, Kita T, Nakao S,

Ishibashi T:

The Effects of TNF-Alpha and Dexamethasone on Cultured Hyalocytes.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

廣石悟朗：

眼循環のメカニズムと疾患への関与「緑内障と眼循環」

第110回日本眼科学会総会 2006年3月13～16日 大阪市

(シンポジウム)

山中一郎：

糖尿病網膜症に対する治療戦略

第20回南区糖尿病を考える会 2006年1月26日 福岡市

山中一郎：

細胞間接着の研究手法

第110回日本眼科学会総会 2006年4月13～16日 大阪市

スキルトランスファー 第23回眼病理セミナー

山中一郎：

緑内障教育入院の取り組み

第201回北九州眼科研修会 2006年9月14日 北九州市

Sonoda K-H:

The role of innate immunity in the formation of choroidal neovascularization.

Fukuoka AMD seminar Apr.17, 2006, Fukuoka, Japan

Sonoda K-H, Nakamura T, Carmeliet P, Ishibashi T, Stein-

Streilein J:

NKT cell-derived urokinase-type plasminogen activator promote systemic tolerance associated with eye.

Annual Meeting ARVO, Apr. 29- May 4, 2006, Ft. Lauderdale, USA

Sonoda K-H:

The potential role of innate immunity in uveitis and neovascularization.

Schepens Eye Research Institute Seminar (SERIS)

May 10, 2006, Boston, USA

(Special Lecture)

Sonoda K-H, Nakamura T, Carmeliet P, Stein-Streilein J:

The role of NKT cell-derived urokinase-type plasminogen activator in the induction of systemic tolerance associated with eye.

Annual Meeting AAI (The American Association of Immunologists)

May 12-16, 2006, Boston, USA

Sonoda K-H:

The diagnosis and treatment of uveitis: Behcet's Disease (Symposium).

The 21st congress of the Asia-Pacific Academy of Ophthalmology (APAO)

June 10-14, 2006, Singapore

Sonoda K-H:

The current manifestations and therapies of ocular Behçet's disease.

Third Global Chinese Ophthalmic Conference in conjunction with XI National Congress
of Chinese Ophthalmological Society

Aug 31- Sep 4, 2006, Beijing, China

(Symposium)

Sonoda K-H:

Diagnostic criteria of ocular sarcoidosis (invited round table discussion).

Part 1 -Ocular signs and examinations-

1st International Workshop on Ocular Sarcoidosis

Oct 28, 2006, Tokyo, Japan

園田康平:

小児原因不明ぶどう膜炎

わからん会 2006年3月11日 大阪市

園田康平:

ぶどう膜炎～その動向と新しい治療～

都城市眼科医懇話会 2006年4月8日 都城市

園田康平:

ぶどう膜炎・内眼炎の診断と治療 (シンポジウム)

シンポジウム12「眼アレルギー・内眼炎の最近の進歩」

第110回日本眼科学会総会 2006年4月13～16日 大阪市

園田康平：

ぶどう膜炎と全身疾患

九州医療センター地域医師のための生涯研修セミナー

2006年6月24日 福岡市

園田康平：

内因性ぶどう膜炎の治療

第52回日本眼科医会生涯教育講座 最近の薬物療法

— 用法と注意点 —

2006年7月9日 東京都

園田康平：

ベーチェット病眼症に対する顆粒球除去療法

シンポジウム7：膠原病とアフエレーシス

第26回日本アフエレーシス学会 2006年7月28-29日 大津市

(シンポジウム)

園田康平：

実験的自己免疫性ぶどう膜炎の免疫法の実際

1st OWHS Summer School 2006年8月20日 宇部市

園田康平：

内因性ぶどう膜炎の治療

第52回日本眼科医会生涯教育講座 最近の薬物療法

— 用法と注意点 —

2006年8月27日 福岡市

園田康平：

ぶどう膜炎・内眼炎の診断と治療

オキュラーサーフェイスシンポジウム in 大阪

2006年9月21日 大阪市

園田康平：

ぶどう膜炎・内眼炎の診断と治療

オキュラーサーフェイスシンポジウム in 東京

2006年9月28日 東京都

園田康平：

ぶどう膜炎診療のポイント

関西医科大学眼科勉強会 2006年9月22日 枚方市

園田康平：

眼ベーチェット病の薬物療法（シンポジウム）

シンポジウム3 「眼科薬物療法：新知見と近未来」

第26回眼薬理学会 2006年9月24日 福井市

園田康平：

ベーチェット病眼病変の病勢と CXCR2

第7回眼炎症セミナー 2006年10月1日 福岡市

園田康平：

特発性難治性ぶどう膜炎に対する適応とその効果（シンポジウム）

シンポジウム4 「TNF 阻害剤の新展開」

第34回日本臨床免疫学会 2006年10月2～3日 東京都

園田康平、上野暁史、江内田寛、畑 快右、石橋達朗：

ぶどう膜炎症例に対する硝子体手術後トリアムシノロン眼内注入の効果

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～8日 京都市

吉川 洋：

知らんと損する！外眼部小手術の秘訣

霰粒腫切開を 10 倍楽しむ秘訣

第 29 回日本眼科手術学会総会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

(ランチョンセミナー)

吉川 洋：

インストラクションコース 眼科手術に必要な病理検査の基礎知識 眼窩病変の標本の扱い方と組織診断

第 29 回日本眼科手術学会総会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

吉川 洋：

日常診療で出会う眼表面腫瘍のマル秘診療法

秋田県眼科集談会 2006 年 4 月 22 日 秋田市

(特別講演)

吉川 洋：

眼表面の小腫瘍

福島眼科手術勉強会 2006 年 6 月 10 日 郡山市

(特別講演)

吉川 洋：

日常診療で出会う眼表面の腫瘍性疾患

博多眼科セミナー 2006 年 6 月 21 日 福岡市

吉川 洋：

反応性リンパ過形成の謎

第 40 回日本眼炎症学会 2006 年 7 月 8 日 米子市

(シンポジウム)

吉川 洋：

眼科医が眼内リンパ腫をみて思うこと

神戸悪性リンパ腫診療グループ会議 2006年7月22日 神戸市

特別講演

吉川 洋、向野利一郎、村上祐介、石橋達朗、坂本英久、有川愛子：

瞼板の類表皮嚢胞9例

第24回眼腫瘍研究会 2006年7月28日 札幌市

吉川 洋：

霰粒腫、切開の秘訣とまぎらわしい疾患

角膜学術講演会 2006年10月19日 金沢市

吉川 洋

知らんと損する外眼部小手術の秘訣

霰粒腫 切開の秘訣とまぎらわしい疾患

第12回愛媛県眼科学術講演会 2006年11月12日 愛媛市

吉川 洋：

日常診療における眼瞼腫瘍

その腫瘍 ホントに霰粒腫？ 眼瞼の各種良性腫瘍

第21回眼科疾患シンポジウム 2006年11月18～19日 東京

(ミニシンポジウム)

永戸 天、上野暁史、吉川 洋、向野利一郎、松本博善、望月泰敬、

江内田寛、畑 快右、石橋達朗：

Vasoproliferative tumor of the ocular fundus の7例

第29回日本眼科手術学会総会 2006年1月27～29日 東京

大島裕司、Peter A Campochiaro、石橋達朗：

眼内血管新生および血管発達におけるアンジオポイエチン2の作用について

平成 17 年度 厚生労働省 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班班会議 2006 年 1 月 20
～21 日 福岡市

大島裕司、大島幸子、南部裕之、P.A. Campochiaro、石橋達朗：

眼内血管新生および血管発達におけるアンジオポイエチン2の作用について

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

大島裕司：

緑内障点眼処方状況の調査

北九州緑内障ミーティング 2006 年 11 月 17 日 北九州市

吉田茂生、桑原留美、山地陽子、久保田敏昭、石橋達朗：

GUCY2D の新規変異を認めた錐体桿体ジストロフィの 1 家系：

遺伝子チップの使用経験

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

吉田茂生：

遺伝性眼疾患の病因解明と診断への応用

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

吉田茂生、桑原留美、山地陽子、久保田敏昭、石橋達朗：

遺伝子型タイピングチップを用いて変異同定を試みた錐体桿体ジストロフィの 1 家系

平成 17 年度 厚生労働省 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

班会議 2006 年 1 月 20～21 日 福岡市

吉田茂生：

網膜の加齢に伴い発現レベルの変化する遺伝子群の包括的解析

慢性疾患・リハビリテーション研究報告会

2006年12月2日 京都市

吉田茂生：

臨床応用をめざしたゲノム医科学的アプローチによる網膜疾患の病因探索

国立遺伝学研究所セミナー 2006年7月7日 三島市

吉田茂生：

ゲノム科学的手法を用いた網膜ジストロフィの分子病態の解明と遺伝子診断システムの構築

第2回J R P S 網脈絡膜変性フォーラム

2006年6月28日 千葉市

Yoshida S, Yamaji Y, et al:

Rapid genotyping system for most common TGFBI mutations with real-time polymerase chain reaction.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

後藤美和子：

小児眼科手術

第41回福岡小児麻酔カンファレンス 2006年2月25日 福岡市

後藤美和子：

心因性視覚障害

第223回こどもカンファレンス 2006年10月17日 福岡市

坂本英久：

線維柱帯切除術～良好な濾過胞を作成するためのテクニック～

第4回北九州緑内障研究会 2006年11月17日 北九州市

Ikeda Y, Yonemitsu Y, Miyazaki M, Kohno R, Murata T,

Goto Y, Terao K, Hasegawa M, Sueishi K, Ishibashi T:

Prolonged gene expression in non-human primate retina using recombinant sivagm-based lentiviral vectors.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

塩瀬聡美、吉田茂生、山地陽子、池田康博、石橋達朗：

CYP4V2 遺伝子の Trp340Stop 変異を認めたクリスタリン網膜症の2例

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～8日 京都市

Sassa Y, Rook S, Clermont A, Gao B, Feener EP, Aiello LP:

Regulation of dickkopf protein 3 in retinal cells and diabetic retina.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

Takeda A, Nozaki M, Raisler BJ, Baffi JZ, Ambati BK,

Ambati J:

CCR3 blockade suppresses experimental choroidal neovascularization

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

Albuquerque R, Raisler BJ, Nozaki M, Baffi JZ, Takeda A,
Collinson JM, Leiper LJ, Ikeda S, Ambati BK, Ambati J:
Corneal avascularity is due to soluble VEGF receptor-1.
The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.
April 30- May 4, 2006,
Fort Lauderdale, USA

Nozaki M, Raisler BJ, Mett I, Notkin N, Papismadov I,
Shalom L, Takeda A, Baffi JZ, Feinstein E, Ambati J:
RTP801i: A novel anti-angiogenic strategy superior to and cooperative with VEGF-A
blockade in suppressing CNV.
The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.
April 30- May 4, 2006,
Fort Lauderdale, USA

Ambati J, Nozaki M, Sakurai E, Baffi JZ, Takeda A,
Raisler BJ, Ambati BK:
VEGF-A suppresses choroidal neovascularization via HO-1.
The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.
April 30- May 4, 2006,
Fort Lauderdale, USA

Hisatomi T, Nakazawa T, She H, Noda K, Miyahara S,
Ishibashi T, Kroemer G, Gragoudas E. S, A.Hafezi-Moghadam,
Miller J.W:
Critical role of apoptosis inducing factor (AIF) in photo-receptor apoptosis in
retinal detachment.
The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.
April 30-May 4, 2006,
Fort Lauderdale, USA

Hisatomi T :

Histological aspects of ILM peeling and new staining for ILM peeling. (Symposium)
Vital Stains for Vitreoretinal Surgeries: Past, Present and Future. AAO, Nov. 2006,
Las Vegas.

安田美穂 :

わが国における糖尿病網膜症の疫学～久山町研究
第 15 回やまがた DM ミーティング 2006 年 12 月 山形市

安田美穂 :

わが国における AMD の疫学
第 60 回日本臨床眼科学会 アフタヌーンセミナー
2006 年 10 月 5～8 日 京都市

宮崎勝徳、池田康博、米満吉和、向野利一郎、後藤純信、坂本泰二、田畑寿晃、長谷川護、
居石克夫、石橋達朗 :

SIV ベクターを用いたヒト PEDF 遺伝子発現による網膜神経節細胞保護効果
第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

宮崎勝徳、池田康博、向野利一郎、村上祐介、石橋達朗 :

網膜色素変性における光干渉断層計を用いた統計学的検討
第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

古賀久大、野田和宏、貴福香織、安田美穂、木村純子、藤澤公彦 :

糖尿病黄斑浮腫におけるケナコルト注と硝子体手術の比較
第 163 回九州大学眼科研究会 2006 年 2 月 4 日 福岡市

有川愛子、吉田茂生、山地陽子、桑原留美、朝隈朋子、望月泰敬、
吉川 洋、上野暁史、石橋達朗：

遺伝子解析を行った家族性滲出性硝子体網膜症の3家系

第163回九州大学眼科研究会 2006年2月4日 福岡市

有川愛子、吉田茂生、山地陽子、桑原留美、朝隈朋子、望月泰敬、
吉川 洋、上野暁史、石橋達朗：

遺伝子解析を行った家族性滲出性硝子体網膜症の3家系

第76回九州眼科学会 2006年5月12～14日 長崎市

有川愛子、吉川 洋、有田量一、松崎彰信、名取良弘、山本正洋、
石橋達朗：

Langerhans cell histiocytosis の4例

第31回日本小児眼科学会総会 2006年6月2～4日 浜松市

有川愛子、吉川 洋、有田量一、松崎彰信、名取良弘、山本正洋、
石橋達朗：

Langerhans cell histiocytosis の4例

第44回六大学合同眼科研究会 2006年9月16日 福岡市

Nakao S, Miura M, Hata Y, Ishibashi T:

Dexamethasone inhibits IL-1 β -induced neovascularization in mouse cornea.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

江内田寛、畑 快右、上野暁史、望月泰敬、松本博善、三浦宗希、
石橋達朗：

あたらしい内眼手術補助薬の可能性

第163回九州大学眼科研究会 2006年2月4日 福岡市

江内田寛：

硝子体手術がうまくなる病理学 網膜硝子体界面の変化と疾患

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～8日 京都市

(シンポジウム)

Enaida H, Hisatomi T, Goto Y, Hata Y, Ueno A, M. Miura,

Kubota T, Ishibashi T:

Preclinical investigation of internal limiting membrane peeling and staining using intravitreal brilliant blue G.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

野田佳宏、安田美穂、塩瀬聡美、中尾新太郎、喜多岳志、

狩野久美子、宮原千佳子、石橋達朗：

光線力学的療法の視力悪化因子

平成17年度 厚生労働省 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

班会議 2006年1月20～21日 福岡市

野田佳宏、安田美穂、塩瀬聡美、中尾新太郎、喜多岳志、

狩野久美子、宮原千佳子、石橋達朗：

光線力学的療法の治療経過

第163回九州大学眼科研究会 2006年2月4日 福岡市

野田佳宏：

PCV に対する PDT の治療経過に影響する因子

第110回日本眼科学会総会 黄斑研究会 シンポジウム

ポリープ状脈絡膜血管症の治療 2006年4月13日 大阪市

白神史雄、石橋達朗、野田佳宏、他4名：

HRA でわかること -Part3-

第23回日本眼循環学会 イブニングセミナー

2006年6月30日 富士吉田市

Mochizuki Y, Hata Y, Enaida H, Hisatomi T, Ueno A, Ikeda Y,

Kawahara S, Arita R, Ishibashi T:

Triamcinolone-assisted vitrectomy for asteroid hyalosis.

Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology. April

30-May 5, 2006

Fort Lauderdale, Florida, USA

Mochizuki Y, Hata Y, Enaida H, Hisatomi T, Ueno A,

Ishibashi T:

Vitreous cortex characteristics in eyes with asteroid hyalosis.

The 21st Congress of the Asia-Pacific Academy of Ophthalmology. June 10-14, 2006

Singapore

望月泰敬、畑 快右、永戸 天、松本博善、有田量一、川原周平、

江内田寛、上野暁史、石橋達朗：

網膜光凝固後に漿液性網膜剥離を生じた糖尿病網膜症の1例

第12回日本糖尿病眼学会総会 2006年3月10~12日 東京都

望月泰敬、有田量一、川原周平、松本博善、野田佳宏、江内田寛、

上野暁史、畑 快右、石橋達朗：

九大眼科における網膜剥離の手術成績

第44回六大学合同眼科研究会 2006年9月16日 福岡市

望月泰敬、畑 快右、永戸 天、松本博善、有田量一、川原周平、
江内田寛、上野暁史、石橋達朗：

星状硝子体症の網膜硝子体界面の検討

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

多田花代、吉田茂生、山地陽子、桑原留美、朝隈朋子、望月泰敬、
吉川 洋、上野暁史、石橋達朗：

NEMO 遺伝子の欠失を認めた色素失調症の一家系

第 163 回九州大学眼科研究会 2006 年 2 月 4 日 福岡市

多田花代、吉田茂生、山地陽子、藤澤公彦、石橋達朗、山本正洋：

NEMO 遺伝子 (NF- κ B essential modulator 遺伝子) の欠失を認めた色素失調症の一家系

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

Matsumoto H, Yamanaka I, Ishibashi T:

Triamcinolone-assisted pars plana vitrectomy improves residual posterior vitreous
hyaloid removal- ultrastructural analysis of the inner limiting membrane.

The 21th congress of the asia-pasific academy of ophthalmology June 10-14, 2006,
Singapore.

向野利一郎、吉川 洋、村上祐介、有田良一、石橋達朗：

アポクリン腺癌が考えられた下眼瞼腫瘍の 1 例

第 41 回臨床眼病理組織研究会 2006 年 4 月 13 日 大阪市

友寄勝夫、山中 修、大西克尚、向野利一郎、吉川 洋：

後部強膜肥厚を呈した悪性リンパ腫の 1 例

第 41 回臨床眼病理組織研究会 2006 年 4 月 13 日 大阪市

向野利一郎、吉川 洋、川野庸一、石橋達朗：

九州大学における脂腺癌 29 例の検討

第 24 回腫瘍研究会 2006 年 7 月 29 日 札幌市

Miura M, Hata Y, Nakao S, Kita T, Kano K, Ishibashi T:

Is pigment epithelium-derived factor a real anti-angiogenic factor?

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

吉村 武、園田康平、武田篤信、石橋達朗：

IL-27/WSX-1 (IL-27R) によるサイトカイン産生抑制：眼炎症への関与

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

Yoshimura T, Sonoda K-H, Takeda A, Hamano S, Ishibashi T,

Yoshimura A, Yoshida H:

WSX-1(IL-27R) plays a critical role for the initiation of experimental autoimmune uveitis.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

Yoshida H, Yoshimura T, Yoshimura A, Miyazaki Y:

Two-sided roles of IL-27; Induction of Th1 differentiation on naive CD4+ T cells vs. suppression of cytokine production on activated CD4+ T cells.

20th IUBMB International Congress of Biochemistry and Molecular Biology, June 18-23, 2006, Kyoto, Japan

吉村 武、園田康平、岩倉洋一郎、石橋達朗、吉村昭彦、吉田裕樹：

実験的自己免疫性網膜ぶどう膜炎における炎症性サイトカイン IL-17 の作用

第 40 回日本眼炎症学会 2006 年 7 月 7～9 日 米子市

Yoshimura T, Miyazaki Y, Yoshimura, Yoshida H:

STAT3 is responsible for IL-27/WSX-1-mediated suppression of cytokine? production
by activated T cells.

Cytokines 2006. Joint Conference of the ISICR

August 27-31, 2006 Vienna, Austria

吉村 武、園田康平、岩倉洋一郎、石橋達朗、吉村昭彦、吉田裕樹：

実験的自己免疫性網膜ぶどう膜炎における Th17 の役割

第 36 回日本免疫学会、2006 年 12 月 11～13 日 大阪市

野田和宏、貴福香織、古賀久大、安田美穂、木村純子、藤澤公彦：

黄斑浮腫に対するトリアムシノロン後部テノン嚢下注射の効果

第 163 回九州大学眼科研究会 2006 年 2 月 4 日 福岡市

長谷川裕平、西村淳二、金出英夫、石橋達朗：

虹彩の Ca²⁺ 感受性における prostaglandin F_{2a} と latanoprost の作用の相違

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

長谷川裕平、石橋達朗：

ニプラジロールと Ca²⁺ 感受性

ONP 研究会 2006 年 7 月 29 日 東京

喜多岳志、畑 快右、三浦宗希、狩野久美子、中尾新太郎、
石橋達朗：

CTGF の眼内増殖性疾患への関与に関する検討

第 110 回日本眼科学会総会 2006 年 4 月 13～16 日 大阪市

Kita T, Hata Y, Miura M, Kano K, Nakao S, Ishibashi T:

The possible role of CTGF in proliferative eye diseases.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

藤田陽子、高木郁江、安吉弘毅：

鼻涙管形成不全の親子例

第 163 回九州大学眼科研究会 2006 年 2 月 4 日 福岡市

藤田陽子、高木郁江：

鼻涙管形成不全の親子例

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 6 日 京都市

Sakamoto M, Sakamoto H, Ito K, Nishioka Y:

Removal of submacular massive hard exudates through the intentional macular hole in patients with diabetic maculopathy.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30- May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

與儀美智子、吉川 洋、向野利一郎、村上祐介、野田佳宏、
石橋達朗：

眼窩MAL Tリンパ腫と眼窩RLHの病期期間の比較

第 21 回眼科疾患シンポジウム 2006 年 11 月 18～19 日 東京

山中時子、武末佳子、佐川卓司、向野利寛：

特発性黄斑円孔に対する硝子体手術成績

第 76 回九州眼科学会 2006 年 5 月 12～14 日 長崎市

山中時子、武末佳子、佐川卓司、向野利寛：

49 歳、過熟白内障の 1 例

第 27 回産業医科大学研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

大場久美代、望月泰敬、戸栗一郎、江内田寛、畑 快右、上野暁史、

石橋達朗、西岡木綿子：

胞状剥離を伴った多発性後極部網膜色素上皮症に対し硝子体手術を施行した 1 例

第 29 回日本眼科手術学会総会 2006 年 1 月 27～29 日 東京都

有田量一、江内田寛、望月泰敬、上野暁史、畑 快右、藤居 仁、

石橋達朗：

Laser speckle flowgraphy wide を用いた特発性視神経炎に対するステロイドパルス療法の眼循環への影響評価

第 60 回日本臨床眼科学会 2006 年 10 月 5～8 日 京都市

有田量一、石川桂二郎、松野佐和子、野田佳宏、望月泰敬、

江内田寛、上野暁史、畑 快右、石橋達朗：

光線力学的療法後に生じた胞状網膜剥離の 1 例

第 27 回産業医科大学眼科研究会 2006 年 11 月 23 日 北九州市

有田量一、石川桂二郎、松野佐和子、野田佳宏、望月泰敬、

江内田寛、上野暁史、畑 快右、石橋達朗：

光線力学的療法後に生じた胞状網膜剥離の 1 例

第 45 回日本網膜硝子体学会 2006 年 12 月 1～3 日 東京都

Arita R, Enaida H, Hata Y, Ueno A, Mochizuki Y, Noda Y,
Ishibashi T:

Evaluation of optic nerve circulation using laser speckle flowgraphy in patients with
corticosteroid-treated optic neuritis.

The 2006 Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology.

April 30-May 4, 2006,

Fort Lauderdale, USA

管原美香、後藤美和子、吉村圭子：

間欠性外斜視に対する両眼外直筋後転術の手術効果

第44回六大学合同眼科研究会 2006年9月16日 福岡市

管原美香、吉田茂生、山地陽子、後藤美和子、石橋達朗：

X連鎖性若年網膜分離症の遺伝子解析と迅速診断法構築の試み

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～8日 京都市

小池生夫、金 景植、向野るり子、本多博一、大原 進、小池直栄、
吉川 洋：

被虐待児症候群が疑われた2例

第4回眼疾患ミーティング 2006年7月7日 飯塚市

小池生夫、金 景植、向野るり子、大原 進、岩元二郎、小池直栄：

被虐待児症候群について —— 小児科医と眼科医の連携 ——

第160回筑豊小児科医会 2006年7月20日 飯塚市

小池生夫、吉田茂生、山地陽子、宮崎勝徳、池田康博、廣石悟朗、
藤澤公彦、石橋達朗、久保田敏昭、田原昭彦、中村多賀雄：

遺伝子解析を行った Axenfeld-Rieger 症候群の2家系

第44回六大学合同眼科研究会 2006年9月16日 福岡市

小池生夫：

GDx を含めた視神経乳頭解析のコツ

株式会社ファイザー福岡支店眼科勉強会

2006年9月21日 福岡市

小池生夫、吉田茂生、小池直栄、山地陽子、宮崎勝徳、池田康博、
廣石悟朗、藤澤公彦、石橋達朗、久保田敏昭、田原昭彦：

FOXCl 遺伝子解析を行った Axenfeld-Rieger 症候群の兄弟例

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～6日 京都市

小池生夫：

緑内障の診断と治療

麻生飯塚病院合同カンファレンス 2006年10月10日 飯塚市

小池生夫、大原 進、小池直栄、久保田敏昭、田原昭彦：

動力草刈機による穿孔性眼外傷の1例

第27回産業医科大学眼科研究会 2006年11月23日 北九州市

荒川 聡、吉川 洋、川原周平、望月泰敬、中村隆彦、石橋達朗：

結膜および皮膚の広範な上皮内浸潤を伴った脂腺癌の1例

第163回九州大学眼科研究会 2006年2月4日 福岡市

荒川 聡、吉川 洋、川原周平、中村隆彦、倉員健一、望月泰敬、

石橋達朗：

結膜および皮膚に広範な上皮内浸潤を伴ったマイボーム腺癌の1例

第76回九州眼科学会 2006年5月12～14日 長崎市

石川桂二郎、吉川 洋、園田康平、上野暁史、畑 快右、石橋達朗、

中村和正、宮本敏浩：

九州大学眼科における眼内悪性リンパ腫12例の検討

第60回日本臨床眼科学会 2006年10月5～6日 京都市

石川桂二郎、吉川 洋、有田量一、園田康平、上野暁史、畑 快右、
石橋達朗：

眼内悪性リンパ腫に対してMTX硝子体内投与を行った4例
第163回九州大学眼科研究会 2006年2月4日 福岡市

松野左和子、吉川 洋、興儀美智子、有田量一、野田佳宏、
石橋達朗：

眼部 MALT リンパ腫の放射線治療と放射線白内障
第21回眼窩疾患シンポジウム 2006年11月18～19日 東京都

論 文

(平成 18 年 1 月～12 月)

石橋達朗：

24. 眼科疾患 加齢黄斑変性

水流忠彦 編：今日の治療指針 2006 年版：1039-1040, 2006

医学書院 東京 (分担執筆)

石橋達朗：

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理

文光堂 東京 2006 (編集)

高橋寛二、小椋祐一郎、湯沢美都子、石橋達朗：

加齢黄斑変性の診断基準

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成 17 年度報告書 236-258, 2006

中江公裕、増田寛次郎、妹尾 正、小暮文雄、澤 充、金井 淳、

石橋達朗：

わが国における視覚障害の現状

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成 17 年度報告書 263-267, 2006

久保田敏昭、中村顕彦、松尾純子、望月泰敬、鬼塚尚子、巢山弥生、

宮崎美穂、田原昭彦：

白内障、緑内障および網膜硝子体手術に対するクリニカルパス導入の効果

日本眼科学会雑誌 110：25-30, 2006

宮本直哉、森田啓文、山城美和子、藤 紀彦、久保田敏昭

田原昭彦：

墨壺の針（かるこ）による穿孔性眼外傷

あたらしい眼科 23(1)：105-107, 2006

久保田敏昭：

昔の常識、今は非常識 Part II 「白内障手術など5事例」

北九州市医報 584：4-5, 2006

久保田敏昭、田原昭彦：

前房・隅角の診かた 隅角の発達異常

眼科インストラクションコース

7 緑内障細隙燈顕微鏡診断完全マスター 78-81, 2006

久保田敏昭、田原昭彦：

正常隅角 vs 原発開放隅角緑内障 vs 先天／発達緑内障

眼科プラクティス8 いますぐ役立つ眼病理：128-131, 2006

石橋達朗編 文光堂

久保田敏昭、田原昭彦：

落屑 vs アミロイド vs ステロイド

眼科プラクティス8 いますぐ役立つ眼病理：132-135, 2006

石橋達朗編 文光堂

田原昭彦、久保田敏昭：

組織を見る際の線維柱帯切除術の要点、検体の固定と切り出し

眼科プラクティス8 いますぐ役立つ眼病理：142, 2006

石橋達朗編 文光堂

Kubota T, Okabe H, Hisatomi T, Yamakiri K, Sakamoto T,

Tawara A :

Ultrastructure of the trabecular meshwork in secondary glaucoma eyes after intravitreal triamcinolone acetonide.

Journal of Glaucoma 15 : 117-119, 2006

石橋真吾、森田啓文、田原昭彦、岡田浩美、山下美恵、久保田敏昭 :

ステロイドパルス療法と放射線療法の併用療法が奏功した甲状腺眼症の3例

臨床眼科 60 : 607-614, 2006

伊東 健、久保田敏昭、山城美和子、原田行規、田原昭彦、

菅原 聡、中西幸子、廣瀬直文 :

網膜下増殖組織を伴った punctate inner choroidopathy の1例

臨床眼科 60 : 1157-1162, 2006

久保田敏昭、石橋達朗 :

対談：しのびよる目の老化 ―― 加齢に伴う目の病気で失明しないために ――

朝日新聞朝刊 2006年8月27日

Ishibashi S, Hirose N, Tawara A, Kubota T :

Effect of latanoprost on the diurnal variations in the intraocular and ocular perfusion pressure in normal tension glaucoma.

Journal of Glaucoma 15 : 354-357, 2006

久保田敏昭 :

眼科のクリニカルパス

眼科手術 19 : 510-511, 2006

久保田敏昭、石橋達朗 :

高齢者の視力障害

日本医事新報 4314 : 53-59, 2006

畑 快右、石橋達朗：

糖尿病網膜症の病理と眼底所見 糖尿病性細小血管障害

糖尿病カレントライブラリー 75-80, 2006

畑 快右、石橋達朗：

糖尿病網膜症 看護のための最新医学講座 8：336-347, 2006

畑 快右、中尾新太郎、石橋達朗：

糖尿病網膜症の病態生理

カレントセラピー 24：932-937, 2006

畑 快右、石橋達朗：

糖尿病の病理：眼科的合併症

病理と臨床 24：727-733, 2006

畑 快右、石橋達朗：

臨床所見と病理 眼科プラクティス7

糖尿病合併症の診療方針：26-31, 2006

文光堂 東京 (分担執筆)

坂本泰二、畑 快右：

増殖組織の収縮メカニズム —— 硝子体細胞のかかわり ——

眼科プラクティス7 糖尿病合併症の診療方針：250-251, 2006

文光堂 東京 (分担執筆)

畑 快右、中尾新太郎：

高血圧網膜症

眼科プラクティス 12 眼底アトラス：127-129, 2006

石橋達朗編 文光堂 東京

畑 快右、中尾新太郎：

腎性網膜症

眼科プラクティス 12 眼底アトラス：130, 2006

石橋達朗編 文光堂 東京

廣石悟朗、廣石雄二郎、藤居 仁、石橋達朗：

ラタノプロスト点眼とイソプロピルウノプロストン点眼による視神経乳頭循環への影響

眼科臨床医報 100(5)：303-306, 2006

廣石悟朗、小池生夫、池田康博、吉田茂生、藤澤公彦、久保田敏昭、

石橋達朗：

緑内障における視神経乳頭形態の長期経時的変化

臨床眼科 60(3)：329-333, 2006

山中一郎：

正常眼の網膜硝子体界面

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：186-188, 2006

石橋達朗編 文光堂

山中一郎：

正常眼の網脈絡膜界面

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：201-203, 2006

石橋達朗編 文光堂

Namba K, Sonoda KH (equal contribution), Kitamei H,
Shiratori K, Ariyama A, Iwabuchi K, Onoe K, Saniabadi AR,
Inaba S, Ishibashi T, Ohno S:
Granulocytopheresis in patients with refractory ocular Behcet's disease. J Clin
Apher 21 : 121-128, 2006

園田康平 :

【私が思うこと】 1. 留学の思い出

あたらしい眼科 23(10) : 1317-1318, 2006

園田康平、南場研一 :

ベーチェット病眼症に対する顆粒球除去療法

眼科手術 19 : 489-491, 2006

園田康平 :

(特集)ぶどう膜炎・内眼炎治療の最近の進歩

Granulocytopheresis (顆粒球除去療法)

あたらしい眼科 23(11) : 1415-1419, 2006

園田康平 :

HTLV-1 関連ぶどう膜炎「眼感染症 ケース別まるごとマスター」

眼科インストラクションコース 6 : 152-155, 2006

メジカルビュー社、東京

園田康平 :

Behcet 病

眼科プラクティス 12 眼底アトラス : 211-213, 2006

文光堂 東京

園田康平：

Vogt ー小柳ー原田病

眼科プラクティス 12 眼底アトラス：214-217, 2006

文光堂 東京 (分担執筆)

園田康平：

交感性眼炎

眼科プラクティス 12 眼底アトラス：222, 2006.

文光堂 東京 (分担執筆)

吉川 洋：

眼科のリスクマネージメントQ&A

眼部の腫瘍：診断治療のリスクと対処法

あたらしい眼科 22：238-240, 2006

吉川 洋：

皮膚腫瘍 母斑 vs 老人性疣贅 vs 基底細胞癌

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：20-23, 2006

石橋達朗編 文光堂

吉川 洋：

隆起性病変と嚢胞性病変の切り出し

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：36-37, 2006

石橋達朗編 文光堂

小幡博人、吉川 洋：

輪部デルモイド vs 皮様脂肪腫 vs 眼窩脂肪ヘルニア

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：110-111, 2006

石橋達朗編 文光堂

吉川 洋 :

結膜母斑 vs メラノーシス vs 悪性黒色腫

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理 : 115-117, 2006

石橋達朗編 文光堂

Abe K, Sasaki M, Koga H, Kaneko K, Sawamoto H,

Yoshikawa H, Honda H:

Clinical role of 123I-IMP SPECT for the differential diagnosis of ocular malignant melanoma: a time-course analysis.

Nucl Med Commun 28(7) : 567-573, 2007

吉川 洋 :

脈絡膜悪性黒色腫

眼科プラクティス 12 眼底アトラス : 260, 2006

文光堂

吉川 洋 :

原発性眼内悪性リンパ腫

眼科プラクティス 12 眼底アトラス : 261, 2006

文光堂

吉川 洋 :

ぶどう膜転移性腫瘍

眼科プラクティス 12 眼底アトラス : 262, 2006

文光堂

吉川 洋 :

臨床写真スタジオ

「ぶどう」と「膜」

日本眼科紀要 57(1) : 1-2, 2006

吉川 洋、藤田陽子：

臨床写真スタジオ

上強膜骨性分離腫 多能性細胞のつくる epibulbar choristoma のスペクトル

日本眼科紀要 57(2) : 77-78, 2006

吉川 洋、澤崎陽子：

臨床写真スタジオ

先天性索状眼瞼癒着症 Ankyloblepharon filiforme adnatum

日本眼科紀要 57(3) : 169-170, 2006

吉川 洋、鈴木 亮：

臨床写真スタジオ

睫毛の迷入による急性化膿性涙腺炎

日本眼科紀要 57(5) : 319-320, 2006

吉川 洋、皆良田研介、中村武彦：

臨床眼科スタジオ

瞼縁母斑によって起きた霰粒腫と麦粒腫

日本眼科紀要 57(6) : 409-410, 2006

吉川 洋：

臨床眼科スタジオ

眼瞼炎？ 実は悪性腫瘍 マイボーム腺癌の上皮内浸潤

日本眼科紀要 57(7) : 491-492, 2006

吉川 洋：

臨床眼科スタジオ

流行性角結膜炎後の癒痕で生じた Wolfring 腺（副涙腺）嚢胞

日本眼科紀要 57(8) : 583-584, 2006

吉川 洋、谷口慶晃：

臨床眼科スタジオ

Moll 腺嚢胞 (Moll's gland cyst)

日本眼科紀要 57(9) : 653-654, 2006

吉川 洋、永富智浩：

臨床眼科スタジオ

リンパ腫？ではなく、急性骨髄性白血病（顆粒球肉腫）

日本眼科紀要 57(10) : 715-716, 2006

吉川 洋、有川愛子：

臨床眼科スタジオ

「直筋腱は強膜の一部」強膜の厚さと筋付着部の構造

日本眼科紀要 57(12) : 869-870, 2006

永戸 天、有山章子、藤澤公彦、石橋達朗：

色素性乾皮症に視神経障害を発症した症例

日本眼科臨床医報 100 : 243-245, 2006

Vinores SA, Xiao WH, Aslam S, Shen J, Oshima Y, Nambu H,

Liu H, Carmeliet P, Campochiaro PA:

Implication of the hypoxia response element of the VEGF promoter in mouse models of retinal and choroidal neovascularization, but not retinal vascular development.

J Cell Physiol 206(3) : 749-58, 2006

大島裕司、Peter A Campochiaro、石橋達朗：

眼内血管新生および血管発達におけるアンジオポイエチン2の作用について

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成 17 年度報告書 : 293-304

大島裕司：

どこまで進んだ分子病態の解明と標的治療～加齢黄斑変性～

臨床眼科 60 : 136-143, 2006

Yoshida S, Yamaji Y, Kuwahara R, Yoshida A, Hisatomi T,

Ueno A, Ishibashi T:

Novel mutation in exon 2 of COL2A1 gene in Japanese family with Stickler Syndrome type I.

Eye 20 : 743-745, 2006

Yoshida S, Yamaji Y, Yoshida A, Ikeda Y, Yamamoto K,

Ishibashi T:

Rapid detection of SAG 926delA mutation using real-time polymerase chain reaction.

Mol Vis 12 : 1552-1557, 2006

Yoshida S, Yamaji Y, Yoshida A, Kuwahara R, Fujisawa K,

Ishibashi T:

Prognostic DNA testing and counselling for dominant optic atrophy due to a novel OPA1 mutation.

Can J Ophthalmol 41 : 614-616, 2006

Yoshida S, Yamaji Y, Yoshida A, Kuwahara R, Yamamoto K,

Kubata T, Ishibashi T:

Novel triple missense mutations of GUCY2D gene in Japanese family with cone-rod dystrophy: possible use of genotyping microarray.

Molecular Vision 12 : 1558-1564, 2006

吉田茂生：

臨床写真スタジオ

眼限局型硝子体ジストロフィ I 型

日本眼科紀要 57：243-244, 2006

吉田茂生：

遺伝性眼疾患のゲノム解析と診断への応用

日本眼科学会雑誌 110：898-913, 2006

吉田茂生：

眼科医のための先端医療 もっと速く患者様の病因を知りたい

あたらしい眼科 23：771-774, 2006

吉田茂生：

ゲノム科学的手法を用いた網膜ジストロフィの分子病態の解明と遺伝子診断システムの構築

JRPS ニュースレター 19：12-13, 2006

吉田茂生、山地陽子：

遺伝性網脈絡膜疾患の遺伝子解析

あたらしい眼科 23：1113-1123, 2006

近藤峰生、吉田茂生：

網脈絡膜変性疾患のアップデート

あたらしい眼科 23：1111, 2006

吉田茂生：

ゲノム医科学と眼科疾患

福岡県眼科医会報 195：3-7, 2006

吉田茂生、桑原留美、山地陽子、久保田敏昭、石橋達朗：
遺伝子型タイピングチップを用いて変異同定を試みた錐体桿体ジストロフィの1家系
厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班
平成17年度報告書：9-23, 2006

Yoshida A, Kawano Y, Kato K, Yoshida S, Yoshikawa H,
Muta T, Eto T, Gondo H, Shibuya T, Ishibashi T, Yamana T:
Apoptosis in perforated cornea of a patient with graft-versus-host disease.
Can J Ophthalmol 41 : 472-475, 2006

後藤美和子、園田康平、石橋達朗、原 寿郎：
両眼ぶどう膜炎を伴った Neonatal onset multisystem inflammatory disease (NOMID) の
1例
眼科臨床医報 100(5) : 327-329, 2006

後藤美和子：
小児眼科手術
臨床麻酔 30(5) : 863-866, 2006

後藤美和子：
新生児の眼異常
周産期医学第36巻増刊号
周産期医学必修知識 第6版 : 711-712, 2006

Ikeda Y, Yonemitsu Y, Onimaru M, Nakano T, Miyazaki M,
Kohno R, Nakagawa K, Ueno A, Sueishi K, Ishibashi T:
The regulation of vascular endothelial growth factors (VEGF-A, -C, and -D) expression
in the retinal pigment epithelium.
Exp Eye Res 83 : 1031-1040, 2006

Yoshizumi T, Yonemitsu Y, Ikeda Y, Kaneda Y, Yanaga K,
Sugimachi K, Sueishi K :

Tumor necrosis factor- α antisense transfer remarkably improves hepatic graft
viability. Liver Int 26 : 451-456, 2006

池田康博 :

緑内障診療の未来へ向けて

Frontiers in Glaucoma 7 : 156-158, 2006

池田康博 :

眼における血管新生病 糖尿病網膜症の病態と治療の進歩

細胞 38 : 355-358, 2006

池田康博、米満吉和、宮崎勝徳、向野利一郎、村上祐介、村田敏規、

後藤純信、長谷川護、居石克夫、石橋達朗 :

サル由来レンチウイルス (SIV) ベクターによるサル網膜での長期遺伝子発現

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成 17 年度報告書 338-339, 2006

Yamagata M, Rook SL, Sassa Y, Ma RC, Gerald P,

Goddard L, Clermont A, Gao B, Salti H, Gundel R, White M,

Feener EP, Aiello LP, King GL :

Bactericidal/permeability-increasing protein's signaling pathways and its retinal
trophic and anti-angiogenic effects.

FASEB J 20 : 2058-2067, 2006

Ambati BK, Nozaki M*, Singh N*, Takeda A*, Jani PD*,
Suthar T, Albuquerque RJC, Richter E, Sakurai E,
Newcomb MT, Kleinman ME, Caldwell RB, Lin Q, Ogura Y,
Orecchia A, Samuelson DA, Agnew DW, Legar JS, Green WR,
Mahasreshti PJ, Curiel DT, Kwan D, Marsh H, Ikeda S,
Leiper LJ, Collinson JM, Bogdanovich S, Khurana TS,
Shibuya M, Baldwin ME, Ferrara N, Gerber HP, De Falco S,
Witta J*, Baffi JZ*, Raisler BJ*, Ambati J:
Corneal avascularity is due to soluble VEGF receptor-1.
Nature 443(7114) : 993-997, 2006 (*equally contributors)

Hisatomi T, Enaida H, Matsumoto H, Kagimoto T, Ueno A,
Hata Y, Kubota T, Goto Y, Ishibashi T:
Staining ability and biocompatibility of brilliant blue G: preclinical study of
brilliant blue G as an adjunct for capsular staining.
Arch Ophthalmol 124(4) : 514-519, 2006

Hisatomi T, Enaida H, Sakamoto T, Kanemaru T, Kagimoto T,
Yamanaka I, Ueno A, Nakamura T, Hata Y, Ishibashi T:
Cellular migration associated with macular hole: a new method for comprehensive
bird's-eye analysis of the internal limiting membrane.
Arch Ophthalmol 124(7) : 1005-1011, 2006

Nakazawa T, Nakazawa C, Matsubara A, Noda K, Hisatomi T,
She H, Michaud N, Hafezi-Moghadam A, Miller JW,
Benowitz LI:

Tumor necrosis factor- α mediates oligodendrocyte death and delayed retinal
ganglion cell loss in a mouse model of glaucoma.

J Neurosci 26(49) : 12633-12641, 2006

Nakazawa T, Matsubara A, Noda K, Hisatomi T, She H,
Skondra D, Miyahara S, Sobrin L, Thomas KL, Chen DF,
Grosskreutz CL, Hafezi-Moghadam A, Miller JW:

Characterization of cytokine responses to retinal detachment in rats. Mol Vis 12 :
867-878, 2006

Sonoda S, Tachibana K, Uchino E, Okubo A, Yamamoto M,
Sakoda K, Hisatomi T, Sonoda KH, Negishi Y, Izumi Y,
Takao S, Sakamoto T:

Gene transfer to corneal epithelium and keratocytes mediated by ultrasound with
microbubbles.

Invest Ophthalmol Vis Sci 47(2) : 558-564, 2006

久富智朗 :

網膜上膜 vs 黄斑円孔

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理 : 189-191, 2006

石橋達朗編 文光堂

久富智朗 :

網膜前膜・内境界膜の固定と包埋

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理 : 212-213, 2006

石橋達朗編 文光堂

安田美穂、吉川 洋 :

虹彩色素上皮嚢胞 vs 虹彩実質嚢胞

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：150-151, 2006

石橋達朗編 文光堂

宮崎勝徳、池田康博：

特集「網脈絡膜変性疾患のアップデート」網脈絡膜変性疾患の治療に向けて：遺伝子治療

あたらしい眼科 23：1161-1168, 2006

宮崎勝徳、池田康博、米満吉和、後藤純信、向野利一郎、坂本泰二、

田畑寿晃、長谷川護、飛松省三、居石克夫、石橋達朗：

サル由来レンチウイルス（SIV）ベクターを用いた網膜虚血再還流モデルにおける網膜神経節細胞保護効果の検討

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成 17 年度報告書 336-337, 2006

宮原千佳子：

毛様体筋と毛様体平滑筋腫

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：152-154, 2006

石橋達朗編 文光堂

Enaida H, Hisatomi T, Goto Y, Hata Y, Ueno A, Miura M,

Kubota T, Ishibashi T：

Preclinical investigation of internal limiting membrane peeling and staining using intravitreal brilliant blue G.

Retina 26：623-630, 2006.

Enaida H, Hisatomi T, Hata Y, Ueno A, Goto Y, Yamada T,
Kubota T, Ishibashi T:

Brilliant blue G selectively stains the internal limiting membrane/brilliant blue
G-assisted membrane peeling.

Retina 26 : 631-636, 2006

佐々木徹、園田康平、池田康博、久保田敏昭、石橋達朗 :

数年間著明な眼圧季節変動を示した太田母斑に併発した発達緑内障の1例

あたらしい眼科 23(6) : 817-820, 2006

野田佳宏、安田美穂、塩瀬聡美、中尾新太郎、喜多岳志、

狩野久美子、宮原千佳子、石橋達朗 :

光線力学的療法の視力悪化因子

厚生労働省特定疾患 網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班

平成17年度報告書 155-158, 2006

野田佳宏 :

デジタルプレゼンテーションのコツ

第12回 発表者ツール(1) 発表者ツールの紹介

眼紀 57(1) : 71-73, 2006

野田佳宏 :

デジタルプレゼンテーションのコツ

第13回発表者ツール(2) 発表者ツールを使う

眼紀 57(3) : 236-238, 2006

野田佳宏 :

デジタルプレゼンテーションのコツ

第14回 2006年夏のPC選び

眼紀 57(5) : 406-407, 2006

野田佳宏：

デジタルプレゼンテーションのコツ

第15回 出張や学会にちょっと便利なモノ

眼紀 57(7) : 580-581, 2006

野田佳宏：

デジタルプレゼンテーションのコツ

第16回 PowerPoint 2007 を使ってみる (1)

眼紀 57(9) : 712-714, 2006

野田佳宏：

デジタルプレゼンテーションのコツ

第17回 PowerPoint 2007 を使ってみる (2)

眼紀 57 (11) : 923-924, 2006

Mochizuki Y, Hata Y, Enaida H, Yoshiyama K, Miyazaki M,

Ueno A, Murata T, Sakamoto T, Kubota T, Ishibashi T:

Evaluating adjunctive surgical procedures during vitrectomy for diabetic macular edema.

Retina 26 : 143-148, 2006

Mochizuki Y, Kubota T, Hata Y, Miyazaki M, Suyama Y,

Enaida H, Ueno A, Ishibashi T:

Surgical results of combined pars plana vitrectomy, phacoemulsification, and intraocular lens implantation for various vitreoretinal diseases.

European Journal of Ophthalmology 16 : 279-286, 2006

望月泰敬：

黄斑疾患の診断と治療 漿液性網膜剥離を伴った糖尿病黄斑浮腫
(光凝固後に増悪した症例)

日本眼科紀要 57(5) : 403-405, 2006

望月泰敬：

黄斑疾患の診断と治療 糖尿病黄斑浮腫
(硝子体術後に黄斑浮腫が遷延した症例)

日本眼科紀要 57(7) : 576-579, 2006

望月泰敬、畑 快右、石橋達朗：

患者説明からみる糖尿病治療スタッフのための最新の眼科知識
糖尿病眼病変の基礎知識

プラクティス 23(3) : 273-277, 2006

今居由佳理、荒川 修、廣石悟朗、石橋達朗：

Down 症候群に伴う円錐角膜性水腫の1例

眼科臨床医報 100(9) : 24-25, 2006

狩野久美子、畑 快右：

なぜ増殖組織は硝子体方向へ？グリア細胞のかかわり

眼科プラクティス7

糖尿病眼合併症の診療指針 : 248-249, 2006

Kohno R, Ikeda Y, Yonemitsu Y, Hisatomi T, Yamaguchi M,

Miyazaki M, Takeshita H, Ishibashi T, Sueishi K:

Sphere formation of ocular epithelial cells in the ciliary body is a reprogramming
system for neural differentiation.

Brain Res 1093(1) : 54-70, 2006

向野利一郎：

ポリープ状病変 pyogenic granuloma vs 結膜乳頭腫

眼科プラクティス 8 いますぐ役立つ眼病理：48-49, 2006

石橋達朗編 文光堂

Oshima T, Sonoda KH, Tsutsumi-Miyahara C, Qiao H,

Hisatomi T, Nakao S, Hamano S, Egashira K, Charo IF,

Ishibashi T:

Analysis of corneal inflammation induced by cauterisation in CCR2 and MCP-1 knockout mice.

Br J Ophthalmol 90:218-222, 2006

Matsuura T, Sonoda K, Ohba S, Ariyama A, Nakamura T,

Ishibashi T:

A case of choronic recurrent uveitis associated with chronic granulomatous disease.

Jpn J Ophthalmol 50 : 284-298, 2006

Miura M, Hata Y, Hirayama K, Kita T, Noda Y, Fujisawa K,

Shimokawa H, Ishibashi T:

Critical role of the Rho-kinase pathway in TGF-beta2-dependent collagen gel contraction by retinal pigment epithelial cells.

Exp Eye Res 82(5) : 849-859, 2006

伊東崇子、園田康平、有山章子、中村隆彦、石橋達朗：

九州大学眼科における 20 年間の強膜炎の検討

臨床眼科 60(7) : 1213-1217, 2006

Kinjyo I, Inoue H, Hamano S, Fukuyama S, Yoshimura T,
Koga K, Takaki H, Himeno K, Takaesu G, Kobayashi T,
Yoshimura A:

Loss of SOCS3 in T helper cells resulted in reduced immune responses and hyperproduction of interleukin 10 and transforming growth factor- β 1.

J Exp Med 203(4) : 1021-1031, 2006

Yoshimura T, Takeda A, Hamano S, Miyazaki Y, Kinjyo I,
Ishibashi T, Yoshimura A, Yoshida H:

Two-sided roles of IL-27; induction of Th1 differentiation on naive CD4+ T cells vs. suppression of pro-inflammatory cytokine production including IL-23-induced IL-17 on activated CD4+ T cells partially through STAT3-dependent mechanism.

J Immunol 177(8) : 5377-5385, 2006

吉村 武、吉村昭彦、吉田裕樹 :

新規 IL-12 関連サイトカイン IL-27 の役割

—— 細胞性免疫の誘導と炎症抑制作用 ——

臨床免疫 45(4) : 391-395, 2006

今 義勝、永富智浩、西岡木綿子、坂本英久、矢壁昭人、石橋達朗 :

正常妊娠後期に発症した中心性漿液性網膜脈絡膜症の1例

臨床眼科 60(4) : 473-476, 2006

Hasegawa Y, Nishimura J, Niino N, Hirano K, Ishibashi T,
Kanaide H :

Prostaglandin F $_{2\alpha}$, but not latanoprost, increases the Ca $^{2+}$ sensitivity of the pig iris sphincter muscle.

Invest Ophthalmol Vis Sci 47(11) : 4865-4871, 2006

與儀美智子、吉川 洋、安田美穂、向野利一郎、石橋達朗 :

眼付属器リンパ増殖性疾患と坑甲状腺自己抗体

あたらしい眼科 23(8) : 1095-1098, 2006

菅原美香、園田康平、吉川 洋、宮崎亜希、朝隈朋子、石橋達朗 :

造血器悪性腫瘍に伴い特異な虹彩腫瘤、毛様体腫脹を呈した仮面症候群の2例

日本眼科紀要 57(8) : 609-613, 2006

小池生夫、吉川 洋、小池直栄、佐川卓司、石橋達朗、佐田 泉、

古賀正崇 :

東洋眼虫症の1例

眼紀 57 : 301-304, 2006

小池生夫、廣石悟朗、小池直栄、池田康博、吉田茂生、藤澤公彦、

石橋達朗 :

網膜神経線維層欠損と視神経乳頭の形態の関係

臨床眼科 60 : 1925-1929, 2006

小池直栄、廣瀬直文、小池生夫、久保田敏昭、田原昭彦 :

眼痛を伴う水疱性角膜症に対し羊膜移植術が有効であった2例

眼紀 57 : 202-209, 2006